

# ディスクロージャー誌

## 2025年度上半期



ディスクロージャー誌は、下記の URL もしくは QR コードからご覧いただけます。  
<https://www.hyogomirai.com/hyogomirai/disclosure/>



## 目 次

ごあいさつ	1
J A兵庫みらいのプロフィール	1
1. 経営理念	2
2. 経営方針	2
3. 協同活動ハイライト（令和7年度上半期）	3
4. 農業振興活動	5
5. 地域貢献情報	6
6. 事業の概況（令和7年度上半期）	8
（1）事業実績の推移	9
（2）有価証券の時価情報	9
（3）預かり資産の状況	10
（4）自己資本比率（単体）	10
7. 農協法に基づく開示債権の状況及び金融再生法開示債権区分に基づく債権の保全状況	11

## ごあいさつ

皆さまには、平素から格別のご愛顧をいただき厚く御礼申し上げます。

J A兵庫みらいは、情報開示を通じて経営の透明性を高めるとともに、当 J A に対するご理解を一層深めていただくために、主な事業の内容や組織概要、経営の内容などについてまとめた「ディスクロージャー誌 2025 年度上半期」を作成いたしました。

当 J A の事業をさらにご利用いただくための一助として、是非ご一読いただきますようお願い申し上げます。

今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

兵庫みらい農業協同組合  
代表理事組合長 高橋 秀

## J A兵庫みらいのプロフィール

◇設 立	平成 14 年 4 月	◇組合員数	28,372 人
◇本店所在地	加西市玉野町	◇役員数	25 人
◇出 資 金	33 億円	◇職員数	321 人
◇総 資 産	4,360 億円	◇支店・営農生活センター数	17 カ所
		(令和 7 年 9 月末現在)	

## 1. 経営理念

「わたしたちは農業、くらしのパートナー。

元氣な農業、元氣なくらしを応援します。」

J A兵庫みらいは、組合員や地域住民のよき相談相手として、地域の「農業」と「くらし」を応援していくことが基本的使命であると考えています。

J Aのもつ事業機能や相談機能をより一層高め、みらいの農業、みらいのくらしをサポートします。

## 2. 経営方針

### (1) 地域農業の維持・振興と持続可能な農業の実現

多様な農業者の営農支援と販売力の強化を図り、安心して農業に取り組める環境づくりをおこない、持続可能でやりがいのある農業を実現します。

### (2) 協同の力で築く豊かな地域社会の創造

協同活動を通じて組合員・地域との接点、コミュニケーションの強化を図り、共感を生み出す豊かな地域社会の創造に取り組みます。

### (3) 経営の健全性と人材育成の推進

地域の信頼と期待に応える健全な経営基盤を確保するとともに、組合員・利用者をサポートできる多様な人材の育成に取り組みます。

### 3. 協同活動ハイライト（令和7年度上半期）

J A兵庫みらいは、「地域に根ざし持続可能なみらいを創る J A」をテーマとする第8次中期経営計画に取り組んでいます。令和7年度上半期の主な取り組み状況を紹介します。

#### 地域農業の維持・振興と持続可能な農業の実現

取り組み	具体的な内容	取り組み状況										
農業者の経営安定 と収益性向上	地域農業の 維持・振興	水稲・小麦・黒大豆・アスパラガスの4品目を主要 振興作物として位置付け、高品質・高収量に向けた 栽培技術指導を強化し、農業者の所得向上と産地振 興に取り組んでいます。 <table><tr><th>品目</th><th>作付面積</th></tr><tr><td>水 稲</td><td>4, 526. 0ha</td></tr><tr><td>小 麦</td><td>319. 7ha</td></tr><tr><td>黒大豆</td><td>73. 7ha</td></tr><tr><td>アスパラガス</td><td>1. 2ha</td></tr></table>	品目	作付面積	水 稲	4, 526. 0ha	小 麦	319. 7ha	黒大豆	73. 7ha	アスパラガス	1. 2ha
品目	作付面積											
水 稲	4, 526. 0ha											
小 麦	319. 7ha											
黒大豆	73. 7ha											
アスパラガス	1. 2ha											
	水稲新品種 の普及	今年度より作付開始した高温耐性のある水稲新品種 「コ・ノ・ホ・シ」の普及拡大を図るため、関係機関 （行政・J Aグループ兵庫）と連携し、施肥試験や 病害虫・刈取適期等の調査を目的とした圃場巡回を 積極的に実施しました。 <table><tr><th>品種名</th><th>栽培面積</th></tr><tr><td>コ・ノ・ホ・シ</td><td>77. 76ha</td></tr></table>    <p>兵庫の新しいお米「コ・ノ・ホ・シ」出荷式</p>	品種名	栽培面積	コ・ノ・ホ・シ	77. 76ha						
品種名	栽培面積											
コ・ノ・ホ・シ	77. 76ha											
	加工品の 販売促進	「ぶどうパウンドケーキ」や「ぶどうアイス」などの J A加工品の販売に取り組んでいます。 										

取り組み	具体的な内容	取り組み状況
地域の活気創出	魅力ある店舗(直売所)づくり	消費者モニター会を各店舗で実施し、消費者の意見を取り入れた店舗づくりに取り組んでいます。 また、消費者と生産者の交流を促進するために対面販売を実施しています。
地域に寄り添うJA	出向く営農相談活動の強化	多種多様な担い手のもとへ積極的に出向き、地域農業の維持・振興に向けた営農相談や支援強化に取り組んでいます。




### 協同の力で築く豊かな地域社会の創造


取り組み	具体的な内容	取り組み状況
総合事業を通じたサービスの提供	地産地消による食農教育活動	各地域の小学校に出向き、出前授業をおこない、“みらい”を担う子どもたちに農業の楽しさを伝えています。





取り組み	具体的な内容	取り組み状況
魅力ある協同活動の推進	地域住民・組合員との接点づくり	地域に密着した支店・事業所をめざし、J Aファンづくり活動をおこない、地域とJ Aを結ぶ活動を実践しています。 

### 経営の健全性と人材育成の推進

取り組み	具体的な内容	取り組み状況
協同活動・経営を支える人づくり	地域に求められる人材育成	渉外担当者および窓口担当者の提案力、相談機能の充実を図るため、人材育成に取り組んでいます。 

#### <ご案内>

イベント、商品紹介、事業等については、当J Aの広報誌『Mirai Club』（みらい倶楽部）やホームページでもご案内しております。

ホームページアドレス : <https://www.hyogomirai.com/>

## 4. 農業振興活動

J A兵庫みらいは、「農業者の所得増大」や「農業生産の拡大」を達成するため地域農業の振興を図るとともに、農業を通じた豊かな地域社会の発展をめざして、次のような農業振興活動に取り組んでいます。

### 1. 安全・安心な農産物づくりへの取り組み

農薬の適正使用の指導やG A P（農業生産工程管理）の取り組みにより、安全・安心な農産物の提供に努めています。

### 2. 集落営農組織の育成・支援

地域農業の担い手として、集落営農組織の育成・支援を進めています。

### 3. 地産地消の取り組み

管内3ヵ所のファーマーズマーケット（農産物直売所）において、地域の消費者に地元の新鮮で安全・安心な農産物の提供に取り組んでいます。

### 4. 農業とのふれあい活動

「農業とのふれあい」をテーマに、収穫体験活動を実施しています。

### 5. 食農教育の取り組み

田植え、稲刈り等の農作業体験を通じて、子どもたちに食と農の大切さを伝えています。

## 5. 地域貢献情報

J A兵庫みらいは、協同組合活動の原点である「組合員の営農とくらし」を守り、地域農業の振興に努めるとともに、地域社会の発展に貢献するため、さまざまな活動を展開しています。

### 1. 社会貢献活動

#### (1) 環境問題への取り組み状況

- ・環境に配慮した諸活動を展開しています。
- ・省エネルギーを実践するため、クールビズの実施に取り組んでいます。

#### (2) 地域の安全・防犯活動

- ・地域の安全を見守る「みらいみまもり隊運動」を継続し、地域住民ならびに行政機関、警察と連携して地域の安全・安心活動や声掛け活動に取り組んでいます。
- ・行政と連携した「高齢者みまもり隊」の活動により、高齢者支援に取り組んでいます。

### 2. 地域貢献活動

#### (1) 地域からの資金調達の状況

貯金残高（令和7年9月末現在）（単位：百万円）

種 類	残 高
当 座 性	154,132
定 期 性	248,347
小 計	402,479
譲 渡 性	—
合 計	402,479

#### (2) 地域への資金供給の状況

貸出金残高（令和7年9月末現在）（単位：百万円）

種 類	残 高
農 業 近 代 化 資 金	—
そ の 他 制 度 資 金	—
農 業 関 連 融 資	486
事 業 関 連 融 資	6,349
住 宅 関 連 融 資	44,959
生 活 関 連 融 資	2,675
そ の 他	334
合 計	54,805

#### (3) 文化的・社会的貢献に関する事項

##### ① 福祉活動

「町ぐるみ健診」の開催に協力し、「骨粗しょう症検診」などを通じて、組合員をはじめとした地域住民の健康増進活動に取り組んでいます。

##### ② 職員の地域貢献への参加

職員においては、地域清掃活動や消防団活動をはじめとした社会活動に積極的に参加し、地域に根ざした活動を実践しています。



### 3. 地域密着型金融への取り組み

#### (1) 農業者等の経営支援に関する取り組み

当JAは、「わたしたちは農業、くらしのパートナー。元気な農業、元気なくらしを応援します。」という経営理念のもと、農業者をはじめ地域の皆さまに利用される総合事業体として営農・経済事業や金融機能のみならず、環境・文化・福祉といった面も視野に入れた事業・活動をおこなっています。

#### (2) 農業者等の経営支援に関する態勢整備

各営農生活センターに営農相談員を配置するとともに、兵庫県立農林水産技術総合センターおよび兵庫県農業改良普及センターとも連携して、農業者の農業技術・生産性向上に向けた相談・指導に応じています。

また、支店の融資担当者も農業や農業関連融資に関する知識を深め、農業者からの幅広い相談に応じることができるよう、日々研鑽しています。

#### (3) 地域農業活性化のための融資をはじめとする支援

農業者の多様なニーズに応じていくため、農業融資担当部門とTAC等営農・経済部門が連携し農業融資に関する訪問・資金提案活動を実施するとともに、各種プロパー農業資金に対応し、また、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取り扱いを通じて農業者の農業経営と生活をサポートしています。

#### (4) 担い手の経営のライフステージに応じた支援

農業後継者として新規就農者、若手専業農家、大型専業農家等の段階に応じた支援をするとともに、新規就農資金等、それぞれの段階に応じた融資制度を設定し経営と生活をサポートしています。

#### (5) 経営の将来性を見極める融資手法をはじめとする担い手に適した資金供給手法の取り組み

農業融資については、TAC等営農・経済部門と連携し、取引実績や青色申告書等を活用した経営分析を通じて、農業者に適した資金提案をおこなっています。また地域農業の支援として、農業設備等にご利用いただけるアグリマイティー資金の利息について、一部助成をおこなっています。

#### (6) 地域の情報集積を活用した持続可能な地域社会への貢献

「地域密着型支店づくり」による支店運営、農産物直売所の運営等を通じ、組合員、地域住民、消費者等のニーズを把握し、より身近な事業運営をおこなっています。

また、小学校等に出向き、出前授業を通して“みらい”の担い手に農業の楽しさを伝えます。親子農業体験を開き、体験を通して家族で農業にふれあう場所を提供します。

## 6. 事業の概況（令和7年度上半期）

当JAでは、第8次中期経営計画（令和7～9年度）の初年度として、「地域に根ざし持続可能なみらいを創るJA」をテーマに事業の展開に取り組んでいます。

今後とも多様な組合員の声をJA運営に反映し、地域農業の振興に努めるとともに、将来にわたって持続可能な経営基盤を確立・強化し、地域に根ざしたJAをめざします。

当JAは堅実で健全な経営を基本理念として、次のことに取り組みました。

その結果、令和7年9月末日現在の当期剰余金は5億3,162万円を確保することができました。

### 1. 信用事業

利用者に信用・信頼される地域金融機関としての機能の充実に努めるとともに、新規開拓に取り組み、取引先の拡大を図りました。

この結果、9月末貯金残高は4,024億円の実績となりました。

### 2. 共済事業

「ひと・いえ・くるま」の総合的な保障点検をおこなうことにより、組合員・利用者本位のサービス提供に取り組みました。

この結果、長期共済の新契約は、9月末現在で134億円の実績となりました。

### 3. 購買事業

営農指導を柱とした購買事業の展開に加え、生産資材価格が高止まりするなかで、組合員ニーズに合った購買品を廉価で供給するよう努めました。

この結果、購買品供給・取扱高は9月末現在で8億円の実績となりました。

### 4. 販売事業

市場需要に応じた新規作物の導入と安全・安心な農産物生産、販売に努めました。

この結果、販売品販売・取扱高は9月末現在で4億円の実績となりました。

### 5. 指導事業

#### （1）営農指導

地域の特性を生かした農業振興のための諸施策を実施するとともに、将来を担う農業の担い手の育成に努めました。

#### （2）生活指導

地域での助け合い運動の拠点としての機能を発揮するため、健康管理活動の支援に取り組みました。

## (1) 事業実績の推移

(単位：百万円)

種 類		令和7年9月末	令和7年3月末	令和6年9月末
信用事業	貯 金	402,479	409,057	417,227
	貸 出 金	54,805	52,427	52,799
	預 金	344,700	351,365	360,578
	有価証券	2,753	2,795	2,921
共済事業	長期共済保有高	452,519	459,828	466,469
	短期共済新契約掛金	479	1,009	469
経済事業	購買品供給・取扱高	827	1,667	815
	販売品販売・取扱高	423	3,944	427

## (2) 有価証券の時価情報

(単位：百万円)

保有区分	令和7年9月末			令和7年3月末		
	取得価額	時 価	評価損益	取得価額	時 価	評価損益
売 買 目 的	—	—	—	—	—	—
満期保有目的	—	—	—	—	—	—
そ の 他	3,192	2,753	△439	3,192	2,795	△397
合 計	3,192	2,753	△439	3,192	2,795	△397

- (注) 1. 時価は市場価格としています。  
2. 取得価額は取得原価又は償却原価としています。  
3. その他有価証券については時価を貸借対照表価額としています。

(3) 預かり資産の状況

①投資信託残高（ファンドラップ含む）

（単位：百万円）

	令和7年9月末	令和7年3月末
投資信託残高 （ファンドラップ含む）	1,387	1,106

（注）投資信託残高（ファンドラップ含む）は「約定日基準」に基づく算出です。

②残高有り投資信託口座数

（単位：口座）

	令和7年9月末	令和7年3月末
残高有り投資信託 口座数	1,603	1,456

(4) 自己資本比率（単体）

令和7年9月末	令和7年3月末
18.20%	17.60%

## 7. 農協法に基づく開示債権の状況及び金融再生法開示債権区分に基づく債権の保全状況

(単位：百万円)

債 権 区 分		債権額	保 全 額			
			担保	保証	引当	合計
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	令和7年9月末	187	38	—	148	187
	令和7年3月末	210	51	—	159	210
危 険 債 権	令和7年9月末	115	69	46	—	115
	令和7年3月末	130	78	52	—	130
要 管 理 債 権	令和7年9月末	—	—	—	—	—
	令和7年3月末	—	—	—	—	—
	三月以上延滞債権	令和7年9月末	—	—	—	—
		令和7年3月末	—	—	—	—
	貸出条件緩和債権	令和7年9月末	—	—	—	—
		令和7年3月末	—	—	—	—
小 計	令和7年9月末	302	108	46	148	302
	令和7年3月末	341	129	52	159	341
正 常 債 権	令和7年9月末	54,526				
	令和7年3月末	52,108				
合 計	令和7年9月末	54,829				
	令和7年3月末	52,449				

(注) 1. 破産更生債権及びこれらに準ずる債権

破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権をいいます。

2. 危険債権

債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権をいいます。

3. 要管理債権

4. 「三月以上延滞債権」に該当する貸出金と 5. 「貸出条件緩和債権」に該当する貸出金の合計額をいいます。

4. 三月以上延滞債権

元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から三月以上遅延している貸出金で、破産更生債権及びこれらに準ずる債権及び危険債権に該当しないものをいいます。

5. 貸出条件緩和債権

債務者の経営再建又は支援を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸出金で、破産更生債権及びこれらに準ずる債権、危険債権及び三月以上延滞債権に該当しないものをいいます。

6. 正常債権

債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がないものとして、上記に掲げる債権以外のものに区分される債権をいいます。